



発行番号：第09A3429号
発行日：平成22年 4月27日

品質性能試験報告書

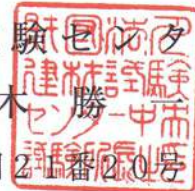
依頼者 フォモジャパン株式会社

東京都港区南麻布4-11-22 南麻布T&Fビル8F

試験名称 発泡プラスチック保温板用接着剤の性能試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



品質性能試験報告書

試験名称	発泡プラスチック保温板用接着剤の性能試験			
依頼者	フオモジャパン株式会社			
試験項目	引張接着強さ、密度、侵食性、耐熱クリープ			
試料	名称：発泡プラスチック保温板用接着剤 商品名：ポリワン 用途による区分：外部用 主成分による区分：ウレタン樹脂系 数量：680g×2缶			
試験方法	JIS A 5547(発泡プラスチック保温板用接着剤)に準じて試験を行った。 密度試験条件 結果は小数点以下第3位まで求めた。 引張接着強さ試験条件 試験体作成のための下地試料：JIS A 5430に規定するスレートボード(厚さ6mm) 試験体作成のための仕上試料：JIS A 9511に規定する押出法ポリスチレンフォーム保温板 2種2号(厚さ25mm) 試験体は約1kgの圧着力を加えた状態で養生を行った。 結果は小数点以下第2位まで求めた。			
試験結果	試験項目		結果	
	引張接着強さ N/mm ²	標準条件		0.51
		第一種特殊条件	高温状態	0.45
			水中浸せき	0.40
		第二種特殊条件	低温状態	0.47
	密度 g/cm ³		0.031	
	侵食性		溶解、膨潤、ひび割れなどの有害な異常は認められなかった。	
	耐熱クリープ		ずれ、はく離などの有害な異常が認められなかった。	
備考：試験結果の詳細を表-1～表-7に示す。				
試験期間	平成22年3月8日～24日			
担当者	材料グループ	統括リーダー	真野孝次	
		試験責任者	大島明	
		試験実施者	石川祐子	
試験場所	中央試験所			

表-1 標準条件引張接着強さ試験結果

試験の環境条件	試験片番号	最大荷重 N	試料面積 mm ²	引張接着強さ N/mm ²
標準条件	1	778	1600	0.49
	2	781	1600	0.49
	3	783	1600	0.49
	4	841	1600	0.53
	5	896	1600	0.56
	平均	-	-	0.51

表-2 高温状態引張接着強さ試験結果

試験の環境条件	試験片番号	最大荷重 N	試料面積 mm ²	引張接着強さ N/mm ²
高温状態	1	734	1600	0.46
	2	727	1600	0.45
	3	799	1600	0.50
	4	654	1600	0.41
	5	720	1600	0.45
	平均	-	-	0.45

表-3 水中浸せき引張接着強さ試験結果

試験の環境条件	試験片番号	最大荷重 N	試料面積 mm ²	引張接着強さ N/mm ²
水中浸せき	1	597	1600	0.37
	2	575	1600	0.36
	3	618	1600	0.39
	4	674	1600	0.42
	5	741	1600	0.46
	平均	-	-	0.40

表-4 低温状態引張接着強さ試験結果

試験の環境条件	試験片番号	最大荷重 N	試料面積 mm ²	引張接着強さ N/mm ²
低温状態	1	839	1600	0.52
	2	636	1600	0.40
	3	761	1600	0.48
	4	817	1600	0.51
	5	712	1600	0.45
	平均	-	-	0.47

表-5 密度試験結果

試験体番号	比重カップの質量 g	水を入れた 比重カップの質量 g	試料を入れた 比重カップの質量 g	水の密度 (水温 23℃) g/cm ³	密度 g/cm ³
1	104.03	207.20	107.17	0.99754	0.030
2	104.03	207.20	107.31	0.99754	0.032
3	104.03	207.20	107.18	0.99754	0.031
平均	-	-	-	-	0.031

表-6 侵食性試験結果

試験体番号	結果
1	溶解，膨潤，ひび割れなどの有害な異常は認められなかった。
2	溶解，膨潤，ひび割れなどの有害な異常は認められなかった。
3	溶解，膨潤，ひび割れなどの有害な異常は認められなかった。

表-7 耐熱クリープ試験結果

試験体番号	結果
1	ずれ，はく離などの有害な異常が認められなかった。
2	ずれ，はく離などの有害な異常が認められなかった。
3	ずれ，はく離などの有害な異常が認められなかった。

以下余白